

大分県PTA



はぐく美

発行所
大分市大字下郡496-38
大分県教育会館2F
大分県PTA連合会
☎(097)556-9055

責任者
山田 弘樹

印刷所
大分市下郡3154の22
九州凸版印刷株式会社

子どもが楽しくPTA活動を目指して
大分県PTA連合会
http://www.oita-pta.com/

2-3 第30回 大分県PTA研究大会 玖珠郡大会

教育長に要望書提出

大分県PTA連合会は、10月28日(木)、岡本天津男県教育長に対し、令和4年度における「中学校3年生学力診断テスト」継続実施についての要望書を提出した。

令和3年度 教育問題懇談会 子どもに寄り添う協育へ



県教委と県P連との教育問題懇談会が、令和3年10月28日(木)にコンパルホール3階多目的ホールで開催された。懇談会には、県教委から岡本天津男教育長他教育次長・関係各課・室から計19名、県P連から山田弘樹会長他副会長・理事ら計20名が出席した。各郡市等P連・育友会から出された教育課題をもとに討議の柱を設定。それをもとに意見交換を行い互いの理解を深め合った。

(以下、内容は抜粋して掲示)

①子どもの教育環境の充実について

①GIGAスクール構想の成果・課題ならびにタブレット・オンライン学習の現状について

国が推進するGIGAスクール構想は、Society 5.0時代を生きる子どもたちの可能性を引き出し、個々に最適な学びと協働的な学びを実現するため、「一人一台端末」などのICT環境を整備する施策。県では、新型コロナウイルス

イルス感染症の拡大に伴いオンライン授業での活用を見据え、小・中学校への端末整備を令和2年度末に完了した。

成果については、タブレット端末を活用した授業を始め、臨時休業した学校では、オンライン学習支援に活用している。また、県内の教育関係者向けに公開授業を実施した。課題は、7月末時点で国が調査した小・中学校の持ち帰り率は本県が約17%、全国では約25%とタブレット端末を活用した授業や家庭への持ち帰りに差異があること。子ども

にICT活用向上や緊急時の備えから持ち帰りを推進する必要がある。

県立学校では、各種アプリを使った学習やALTのオンラインスピーキングレッスンなどを実施。今後、専科教員が配置されない中山間地域の学校との共同授業などを計画している。市町村の学校においても同様の取組が始められ、これから拡大していくと予想される。

②通信ネットワークの整備状況について

学校外でのWiFi環境整備も重要。県は、県立図書館などで児童・生徒のタブレット端末が使用できる環境づくりに検討している。市町村においても子どもたちが集まる図書館や放課後児童クラブ等での使用範囲拡大には、PTAの働きかけも必要と考える。

国は、タブレット端末を新しい文房具として持ち帰りを推奨している。使用時のルールについては、「本格運用時チェックリスト」ICTの活用にあたって健康に関する配慮事項「保護者等との間で確認・共有しておくことが望ましい主なポイント」などを参考に各市町村で決めている。

③教職員の授業力、スキル向上に向けた取組について

教員の指導力向上を図るた

④部活動のあり方について

部活動は、生徒にとって教育的意義の高い活動である。一方で、教職員の献身的な勤務に支えられており、従来の方法で将来にわたり活動を続けるには、学校における教職員の働き方改革などの課題がある。子どもたちにとって望ましいスポーツ・文化活動を送れるよう外部人材の部活動指導員の配置、地域の総合型クラブなど地域との連携に取り組んでいる。

②体面や精神面を支える仕組みや制度について

コロナ禍の中においても運動機会の確保、学校生活に不安を抱える子どもたちを支える仕組みとして学校では、情報を一元的に管理し組織的に対応している。また、個々の状況に応じて「登校支援員」を中学校に配置するなど今後

一年を振り返って



県P連会長 山田 弘樹

6月の総会より会長としての活動をスタートし、半年が過ぎました。昨年度より引き続き新型コロナウイルスが猛威を振るうという目まぐるしい時勢ではありますが、組織として積み上げている経験を



県P連副会長 御幡 雅章

県PTA研究大会玖珠郡大会は昨年同様WEB開催と決めた協議の場を設けて本番に向かいました。現在のコロナ禍の感染状況にフレキシブルな対応とした開催形態となりま



県P連副会長 仁田野 繁昌

コロナ禍が続く中、昨年度の活動を踏まえて研修部主催の事業に取り組みました。全単位PTA会長研修会は、対象を一年目の会長に絞ったこと



県P連副会長 広報担当 平本 泉

今年度、初めて県P連副会長として活動させていただきました。未だ続く感染症への対策で制限がある中、他郡市の方々と共に活動させていた



「時間に追われるように分刻みでスケジュールをこなしてはいます」私達がよく口にしている言葉だ。確かに仕事がい事だとは思いますが、時間に追われる、時間に使われているのはどうなのか。今から四十年以上も前、高学年の担当をしていた時のことだ。時

間の使い方の工夫を考えると、五年生で二時間、六年生で三時間、家に帰ってからの過ごし方の生活設計を宿題にした。宿題や読書、手洗い等も含めてという事で子どもたちは、スケジュール表を作り時間の使い方を工夫した。中学生になった或る日訪ねて来た子どもたちは「他校の友達は何も出さないと言うが、僕達は大丈夫。時間の使い方を宿題にしたら良かったお陰で宿題ばかりか、自分の時間も生み出せるし、長時間机につくことも苦痛でない」と喜んでいました。少ない時間をどのように使い、自由に行動できる時間を生み出すか二時間三時間のみならず、一日の暮らしを自分なりに見つめ始めた子どもたちの姿が眩しく思えた。そこには、時間に追われるだけでなく、追いかけてよとする姿があった。このことからわかるように、ただ忙しい、時間がな

と嘆いているだけでは何も見出せない。「時間は自分が主体となって行動し、有効に使い切るもの」▼分刻みのスケジュールの中にあっても、ほんの少しだけ自分で自由に行動できる時間を生み出すことで余裕が生まれる。心に余裕が生まれることで他者への心遣いも生まれてくる▼コロナ禍の中にある今こそ、自分の暮らしを見つめ直し、改善したいものだ。



笑顔で育む未来の宝

第30回大分県PTA研究大会

玖珠郡大会

今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として初めてのWEB開催となった。2月6日(日)、まん延防止等重点措置がとられる中、「こんな時代だからこそ、心の距離を縮めるPTA活動」を研究主題に「笑顔・やさしさで育む未来の宝」自然豊かな、みやまのちから」の大会スローガンのもと、すべての行事が九重文化センターより配信された。大会紀要を事前に参加者へ配布し、県PTA連ホームページに開設している玖珠郡大会のページで意見の集約を行った。



玖珠郡大会紀要

九州の屋根・九重山群に囲まれる九重町、「童話の里」玖珠町、両町からなる自然豊かな玖珠郡

開会行事

重松悟玖珠郡PTA連会長の開会宣言に続き、山田弘樹県PTA連会長が「約2年にわたるコロナ禍は社会全体を大きく変化させた。感染の波が繰り返され、多くのPTA活動や、子どもたちの体験学習等の学校行事は変更、



あいさつする山田県PTA連会長

中止を余儀なくされる状況が続いている。新しい生活様式が浸透しつつあるなか、PTAは子どもたちが新しい時代を生き抜く必要を育むため、何が求められるかを考える行動することが求められている。県PTA連は学校・地域と協働し、子どもたちの健全な成長と明るい未来のために、活動の形を模索しながら新たな活動を実践している。本大会を通じてつながりや距離が広がる状況のなかで心の距離を縮めるPTA活動とは何かを考え、意見を交わし合うことで、活動の充実と推進力につなげてもらいたい」とあいさつした。

【提言】
学校運営協議会と連動したPTA学年部会の取組、学校・家庭・地域が一体となつて、

【提言】
一人ひとりが
児童を支える当事者

【提言】
意識を変えて
子どもを守る

【提言】
変わらない保護者の思い

【提言】
未来をみえ 挑戦し 自
分の力を伸ばす「大飼っ子」
の育成を目指して

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

中止を余儀なくされる状況が続いている。新しい生活様式が浸透しつつあるなか、PTAは子どもたちが新しい時代を生き抜く必要を育むため、何が求められるかを考える行動することが求められている。県PTA連は学校・地域と協働し、子どもたちの健全な成長と明るい未来のために、活動の形を模索しながら新たな活動を実践している。本大会を通じてつながりや距離が広がる状況のなかで心の距離を縮めるPTA活動とは何かを考え、意見を交わし合うことで、活動の充実と推進力につなげてもらいたい」とあいさつした。

【提言】
一人ひとりが
児童を支える当事者

【提言】
意識を変えて
子どもを守る

【提言】
変わらない保護者の思い

【提言】
未来をみえ 挑戦し 自
分の力を伸ばす「大飼っ子」
の育成を目指して

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

【提言】
今だからできることを

【提言】
第2分科会 家庭教育

【提言】
家庭での会話で育む絆

【提言】
変わる保護者の思い

【提言】
未来をみえ 挑戦し 自
分の力を伸ばす「大飼っ子」
の育成を目指して

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

【提言】
意識を変えて
子どもを守る

【提言】
変わらない保護者の思い

【提言】
未来をみえ 挑戦し 自
分の力を伸ばす「大飼っ子」
の育成を目指して

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

【提言】
意識を変えて
子どもを守る

【提言】
変わらない保護者の思い

【提言】
未来をみえ 挑戦し 自
分の力を伸ばす「大飼っ子」
の育成を目指して

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。

【提言】
PTAとの出会いは14年前
の長女の入学式の日でした。



別府市PTA連合会
会長 平岡 修

第30回 大分県PTA研究大会玖珠郡大会分科会一覧

Table with 4 columns: 分科会 (Sub-committee), テーマ (Theme), 提言者 (Proposer), 指導助言者 (Advisor), 責任者 (Responsible), 責任者 (Responsible). Columns include 第1分科会 (Human Rights/Environment), 第2分科会 (Family Education), 第3分科会 (Organization/Operation), and 第4分科会 (Publicity/Regional Cooperation).



ごあいさつ
大会の長い歴史のなか
玖珠郡大会は初めてのW
EB開催となりました。
コロナ禍で学校の行事等
は縮小、中止を余儀なく
され、生活のなかに社会的
距離が広がったように
感じています。また社会
は日々大きく変化し、便
利になっていく反面、子
どもたちを取り巻く環境
は見えにくく、感じにく
くなっているように思っ
ます。このような時であ
るからこそ、家庭・学校・
地域が連携し、支え合う
ことに大きな意味があり
ます。知恵を出し合い、
工夫することで、ともに
学ぶ、ともに感じる、と
もに育つ、このような絆
がますます大切になって
いるのではないでしょ
うか。本日の発表を視聴し
活気あるPTA活動に活
かして頂きたいです。開
催にあたり多大なご支援
ご協力をお願いした皆様
に感謝申し上げます。
ご挨拶とさせていただきます。



第30回大分県PTA研究大会
実行委員長 日野隆一郎
玖珠郡大会

閉会行事

閉会行事では、山田県P
連合会が開催地の玖珠郡P
連へ感謝状を手渡した。そ
の後、重松玖珠郡P連合会
から次期開催地である杵築
市の工藤慎一杵築市P連会
長へ大会旗を引き継がれた。
杵築市P連のPR動画紹介
の後、閉会行事は終了した。



大会旗の引きつぎ

第3分科会 組織・運営

地域と連携して

「つながりを深めるPTA」
に「つながりを深めるPTA」
をテーマに配信。
子どもたちの学校生活を豊
かにする協力ができていると考
える。父親部の主な活動の一
つに、子どもたちがなわとび
の練習の際に使用する補助具
であるジャンピングボードの
補修がある。角材と合板を組
み合わせた手作りのものを毎
年状況に合わせて、作成・修理
している。ここで父親たちの
特性や得意分野が活かされる。
今後の課題は活動を継続する
ための人材確保であり、女性
の割合が多いPTA活動に男
性の力仕事だけでは多様な
な力を組み合わせ、子ども
たちの環境や生活を豊かにす
るためにより良い活動を目指
していく」と報告した。

特性を活かした活動へ

【提言者】
つながりを深めるPTA
父親のPTA活動への関
わり方

大分市立桃園小学校P野口
浩平会長は「本校は大分市の
中心部近くに位置する児童数
459名の中規模校。本校PTA
組織における保護者男女
比率はPTA執行部で男性
58%、専門部全体で26%と
なっている。PTA専門部内
に『父親部』があることで関
わる男性の割合を増やすこと
を」と報告した。

町全体で創り上げた
夢の結晶

玖珠町立くす星翔中学校P
高井良剛会長は「本校は平成
31年4月に近隣7つの中学校
が統合され誕生した。統合前
の各中学校から選出された代
表保護者により準備委員会が
設けられ、そのままの保護
者が新学校の役員となりPTA
組織が設立。『手探り』か
ら始まった活動は、改良を重
ね、より地域との連携を深め
ている。また特色ある活動と
して目標協働達成会議がある。
『夢』『絆』『志』の3部会から
なり、家庭・学校・地域が学
校の教育目標を共有し達成に
向けて協働の取り組みを進め
ている。これまで7つの中学
校が培ってきたそれぞれの地
域コミュニティをまとめるの
は困難も多いが協働して活動
できる意味は大きい。家庭・
学校・地域が一体となり目標
が達成できれば玖珠町全体の
活性化につながると考えてい
る」と報告した。

町全体で創り上げた
夢の結晶

【提言者】
つながりを深めるPTA
地域・保護者・学校が一体とな
って創りあげた統合中学校

小長和宏県教育庁社会教育
課主任社会教育主事は2校の
提言について「父親部が子ど
もたちのために活躍できる場
を創出しようとする参加者が得
意な活動を実施している。素晴
らしい活動である反面、継続
する難しさも。大切なのは活
動ありきではなく目的にあつ
た活動をその都度考えてはし
い」「目標協働達成会議は熟
議を重ね中学校での取り組み
を玖珠町全体の活性化につな
げようとしている注目すべき
取組。つながりをしがらみに
しないための思い切った線引
きも熟議の末に必要なかもしれ
ない」と指導助言した。

第4分科会 広報・地域連携

子どもを地域の真ん中に

「やさしい心を育む家庭・
学校・地域の連携」をテーマ
に配信。
地域とともにある学校・東雲
地域とともにある学校の
ためにPTAができること

地域と手を携えて

佐伯市立東雲小学校P中西
昭洋副会長は「児童29名、会
員23世帯、児童数が年々減少
している小規模校。『東雲中
学校区学校運営協議会』の導
入により家庭・学校・地域が
協働して子どもを育てる取組
を進めている。保護者の活動

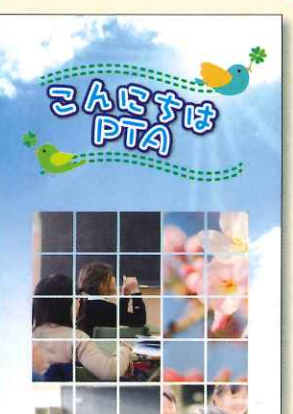
への参加率は高いが、児童・
PTAが実施している小中学
校共有のランド整備作業の
人員確保が課題となっていた。
環境整備の維持には、継続し
た取組が必要という学校との
共通認識から、公民館の職員
である地区コーディネーター
に作業の協力を依頼。地域と
連携することで環境整備を始
め、学校への理解や小・中学
校の協働にもつながった。今
後、組織の現状にあった取組
を見据えながらアイデアを出
し合い、考えていくことが
大切である。地域連携の視点
を取り入れ、これからの子ど
もたちを支える活動に取り組
んでいきたい」と報告した。

未来を切り拓く

未来を切り拓く

【提言者】
コロナ禍の中でできるPTA
活動の推進DXを進め
ようDX(デジタルト
ランスフォーメーション)
日出町立大神中学校P土井
敏裕会長は「既存の価値観や
枠組みを根底から見直す意味
を持つDXを目標に、PTA
のデジタル化に取り組んだ。
体育大会や校長先生のあいさ
つを動画で撮影した後、QR
コードにしてPTA・地区全
戸に配布する広報紙に添付。
動画は、リンクを知らないと
見られない仕組みにした。体
育大会に参加できなかった地
域の方々より好評を得られた。
また、親子で通学路の危険箇
所を写真撮影し、地図上に位
置づけ学校オリジナルのハ

新小学1年生に配布中です



大分県PTA連合会では
PTAについて解説する
リーフレットを作成しています。

